

2024年度 3年生 年間指導計画 【国語】

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「できる」喜びを感じることで国語学習への意欲を高め、自ら課題を見つけ、追求する態度を育てる。 ・国語科の3つの観点に関わる力を育てる。
評価の観点	(知識及び技能)・社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。学年相当の漢字や語彙を理解し、活用することができる。
	(思考力、判断力、表現力等)・自分の意志や考えをまとめ伝達することができる。相手と円滑なコミュニケーションを進めることができる。
	(主体的に学びに向かう態度)・適切に自分の考え・意見をまとめ、相手に伝えることができる。・語彙を豊かにし、適切に自己表現することができる。

時期	単元	学習内容	観点	学習目標 (評価規準)	評価場面・方法
4月	読む〈詩〉 生命は 巻頭	詩の意味や効果的な表現を捉え、文や表現などに注意して、読み方を工夫して音読する。	【思判表】C (1)ウ ㊦ C(2)イ	【思判表】◎「読むこと」において、詩の構成や展開、表現の仕方について評価している。 【主】・進んで表現に注意して内容を解釈し、学習課題に沿って、工夫して音読しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の活動(態度、発表など) ・提出物(ノート・課題など) ・小テスト(漢字・文法など) ・授業プリント・ワークシート ・読み取り課題 ・表現課題(作文など) ・スピーチ、発表 ・暗唱 ・作品制作 ・書写課題 など
4月	読む〈言葉の学習〉 二つのアザミ P18	アザミに関する対比的な表現などに注意して筆者の考えを捉え、言葉と自分自身との関わりについてなど、考えたことを話し合う。	【知技】(1)イ 【思判表】C (1)エ ㊦ C(2)イ	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、言葉について、自分の考えを持っている。 【主】・進んで読み取ったことをもとに考えを広げたり深めたりし、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	
4月	読む〈言語感覚〉 俳句の読み方 P21	三句の俳句について情景や心情を捉え、音読して読み味わう。 「俳句五句」のそれぞれの句に詠まれている情景や心情を想像したり、気に入った句を暗唱したりする。	【知技】(1)イ 【思判表】C (1)イウ ㊦ C(2)イ	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、俳句を鑑賞することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思判表】◎「読むこと」において、俳句の構成や表現の仕方について評価している。 【主】・進んで表現の工夫に注意しながら俳句に詠まれた情景や心情を想像し、学習課題に沿って、俳句のよさを評価して、鑑賞文にまとめようとしている。	
5月	書く〈詩歌創作〉 俳句を作って句会を開こう P23	1 教材冒頭(P23)の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P23～24)に取り組み、俳句を作って句会を開く。 *「言葉の力 読み合って評価する」(P24)を読んで、俳句を読み合って評価するときのポイントを確かめる。 *俳句を作る際、「さまざまな季語」(P25)を適宜参考にするのもよい。 3 「振り返り」(P24)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。	【思判表】B (1)オ ㊦ B(2)ア	【思判表】◎「書くこと」において、読み手からの助言などを踏まえ、自分の俳句のよい点や改善点を見いだしている。 【主】・積極的に俳句を詠み、学習課題に沿って作品のよさを評価しようとしている。	
5月	和語・漢語・外来語——お化けの館でクイズ対決 P26	教材(P26～27)を読んで、和語・漢語・外来語の特徴が、話や文章の中でどのように表れているのかを大まかにつかむ。 「まとめ」(P27)を読んで、和語・漢語・外来語の区別や、それぞれの特徴について理解する。	【知技】(1)イ	【知技】◎和語、漢語、外来語を使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【主】・進んで和語、漢語、外来語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。	
5月	読む〈文学一〉 形	場面の展開や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み	【知技】(1)イ 【思判表】C	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章を読むこ	

月	P30	味わう。 古典作品「松山新介の勇将中村新兵衛が事」(P35)と読み比べ、「形」の内容や表現の特徴を捉えたうえで、この小説の工夫や魅力についてまとめる。 「振り返り」を読み、学習を振りかえって、学んだことを自分の言葉でまとめる。	(1)アウ ㊦ C(2)イ	とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、小説の展開の仕方などを捉えている。 【思判表】◎「読むこと」において、場面の展開や表現の仕方について評価している。 【主】・進んで人物の考えや人物どうしの関係を捉え、学習課題に沿って、場面の展開や表現の仕方に着目しながら作品を批評しようとしている。
5月	人物どうしの関係に着目する P36/P246	教材(P36)を読んで、優馬と友達との関係を想像する。 ㊦「人物どうしの関係に着目する」(P246~249)を読んで、人物の特徴や、人物どうしの関係の変化、象徴について理解を深め、物語を読み深める。	【思判表】C (1)ア	【思判表】◎「読むこと」において、人物の特徴や、人物どうしの関係、象徴に着目して、物語の展開の仕方などを捉えている。 【主】・進んで人物の特徴や、人物どうしの関係、象徴について理解し、学習課題に沿って物語を読み深めようとしている。
6月	読む〈文学一〉 百科事典少女 P37	場面の展開や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み味わう。 作品の最後の部分の展開や表現を捉え、その意味や効果について話し合う。 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 「広がる言葉」(P51)に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。	【知技】(1)イ 【思判表】C (1)アウ	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、小説の展開の仕方などを捉えている。 【思判表】◎「読むこと」において、場面の展開や表現の仕方について評価している。 【主】・進んで人物の考えや人物どうしの関係を捉え、学習課題に沿って、場面の展開や表現の仕方に着目しながら作品を批評しようとしている。
6月	評価しながら聞こう P52	手順①~②(P52~55)に取り組み、評価の観点を見つけ、さまざまな観点から評価しながらスピーチを聞く。 「言葉の力 話の内容や表現の仕方を評価する」(P54)を読んで、聞き取ったことを評価する際のポイントを確認する。	【知技】(2)ア 【思判表】A (1)エ ㊦ A(2)ア	【知技】・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】・話の内容や表現の仕方について評価の観点を探すことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って、評価しながら話を聞こうとしている。
6月	言葉〈漢字道場〉 熟語の構成・熟字訓 P58	「熟語の構成」(P58~59)を読んで、二字熟語の構成について理解し、「問題」①~④に取り組む。 「三字熟語」(P60)を読んで、三字熟語の構成について理解し、「問題」⑤に取り組む。 「熟字訓」(P60)を読んで、熟字訓について理解し、「問題」⑥に取り組む。	【知技】(1)ア	【知技】◎熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【主】・進んで熟語の構成や熟字訓について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
6月	読む〈構成・展開〉 絶滅の意味 P63	文章の構成を捉えて内容を読み取り、説得力を高めるための論の進め方について考え、発表し合う。 「言葉の力 説得力を高めるための論の進め方に着目する」を読んで、説得力を高めるための論の進め方について理解する。	【知技】(1)イ、(2)ア 【思判表】C (1)アウエ ㊦ C(2)ア	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思判表】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。

				<p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。</p> <p>【主】・進んで論の進め方や説明の仕方について考え、学習課題に沿って自分の意見を書こうとしている。</p>
7月	編集して伝えよう——「環境」の新聞 P75	<p>手順①～⑤ (P76～81) に取り組み、グループでテーマを設定したうえで個人の題材を決め、集めた情報を吟味したり書き方を工夫したりして、「環境」の新聞を作る。</p> <p>「言葉の力 情報の客観性や信頼性を吟味する／文章の種類と構成を考え、内容を膨らませて書く」(P77, 78) を読んで、情報を吟味したり、内容を膨らませて書いたりする際のポイントを確かめる。</p> <p>るので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【知技】 (1)ウ, (2)アイ</p> <p>【思判表】 B (1)アイウ</p> <p>㊦ B(2)イ</p>	<p>【知技】・文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>【知技】・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【知技】・情報の信頼性の確かめ方を理解している。</p> <p>【思判表】◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】◎「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</p> <p>【思判表】・「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【主】・積極的に集めた材料を検討し、学習の見通しを持って、文章の種類を選択したり構成を工夫したりしながら新聞記事を書いている。</p>
8/9月	読む(吟味・判断) 幸福について P96	<p>「幸福」について自分の考えを持ち、議論する。</p> <p>「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>「広がる言葉」(P105) に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p>	<p>【知技】 (1)イ, (2)ア</p> <p>【思判表】 C (1)イエ</p> <p>㊦ C(2)ア</p>	<p>【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p> <p>【主】・進んで文章に表れている考えを吟味し、学習課題に沿って自分の考えを持ち、議論しようとしている。</p>
9月	観察・分析して論じよう——「ポスター」の批評文 P107	<p>手順①～⑤ (P108～112) を読んで、批評文の書き方を確認する。</p> <p>「言葉の力 複数の対象を比較し、特徴を多面的に捉える／説得力のある批評文を書く」(P110) を読んで、対象を比較して判断したり、批評文に説得力を持たせたりするためのポイントを確かめる。</p> <p>手順①～⑤に従って「問題」(P112～113) に取り組み、日本旅行を勧めるポスターA～Cを観察・分析して、批評文を書く。</p>	<p>【知技】 (1)イ, (2)ア</p> <p>【思判表】 B (1)アウ</p> <p>㊦ B(2)ア</p>	<p>【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思判表】◎「書くこと」において、批評の対象を観察・分析したり比較したりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【主】・批評の対象を多面的に捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。</p>
9月	場面に応じて話そう——条件スピーチ	<p>手順①～④ (P116～120) に取り組み、社会生活とつながりのある体験について、話す場面を想定してスピーチをす</p>	<p>【知技】 (1)エ, (2)ア</p> <p>【思判表】 A</p>	<p>【知技】・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</p> <p>【知技】・具体と抽象など情報と情報との関係</p>

	P115	る。 「言葉の力 相手や目的に応じて、話の内容や構成を考える／相手の様子や場の状況に応じて話す」(P117, 118)を読んで、状況に応じて話すための準備をしたり実際に話したりする際のポイントを確かめる	(1)イウ 活 A(2)ア	について理解を深めている。 【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、話の構成を工夫している。 【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】・相手や目的に応じた話の内容や構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、自分の思いや考えを分かりやすく伝えようとしている。
9月	言葉〈漢字道場〉 送り仮名 P122	「活用のある語」の前半(P122)を読んで、活用のある語の、送り仮名の付け方の原則と例外について理解し、「問題」①～②に取り組む。 「活用のある語」の後半(P123)を読んで、同じ漢字を使った互いに関連のある語の、送り仮名の付け方について理解し、「問題」③に取り組む。 「活用のない語」(P123)を読んで、活用のない語の、送り仮名の付け方の原則と例外について理解し、「問題」④に取り組む。	【知技】(1)ア	【思判表】◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、詩の構成や展開の仕方などを捉えている。 【主】・進んで詩の表現の特徴を捉え、学習課題に沿って、リズムを感じ取りながら朗読しようとしている。
10月	読む〈詩〉 初恋 P124	七五調など、表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 「詩人と作品」(P126)を読み、島崎藤村について知る。	【思判表】C (1)ア 活 C(2)イ	【思判表】◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、詩の構成や展開の仕方などを捉えている。 【主】・進んで詩の表現の特徴を捉え、学習課題に沿って、リズムを感じ取りながら朗読しようとしている。
10月	古典 万葉・古今・新古今 P128	「万葉集」(P130～131)を読み、内容を大まかにつかむ。 設問①～②(P134)に取り組み、音読を通して和歌のリズムを味わい、和歌に詠まれた心情や情景を読み取る。 設問③に取り組み、好きな和歌を一首選び、鑑賞文をまとめる。 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。	【知技】(3)ア 【思判表】C (1)ウ	【知技】◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思判表】◎「読むこと」において、和歌の構成や表現の仕方について評価している。 【主】・進んで和歌を音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、意味や技法などに注意しながら鑑賞文をまとめようとしている。
10月	古典 おくのほそ道 P135 古典 論語 P144	「おくのほそ道」の解説(P135)を読み、作品の成り立ちや概要を知る。適宜、漢字を確認する。 「古典コラム 俳諧の歴史」の内容にも触れ、俳諧や俳人についても確認する。 冒頭(P135～136)を読み、内容を大まかにつかむ。 「論語」の解説(P144)を読み、「論語」の成り立ちや概要を知る。適宜、漢字を確認する。 「論語」の言葉(P145～146)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 「論語」のそれぞれの言葉について、設問①～②(P147)に取り組み、音読を通して訓読の仕方に慣れ、孔子のものの見方や考え方を読み取る。	【知技】(3)ア 【思判表】C (1)ウ	【知技】◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【思判表】◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり古典の言葉を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【思判表】・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。 【主】・進んで長く親しまれている言葉を読み味わい、学習課題に沿って、古典の言葉を引用しながら自分の考えを書こうとしている。
11月	言葉の移り変わり——タイムマシンで出	教材(P150～151)を読んで、話や文章に表れている言葉の変化を大まかにつかむ。	【知技】(3)ウ	【知技】◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。

	発！ 言葉の昔へ P 150	「まとめ」(P 151)を読んで、言葉の変化について理解する。適宜、漢字を確認する。		【主】・進んで言葉の変化について理解し、課題意識を持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
11月	読む〈文学二〉故郷 P 154	全文を通読し、内容を大まかにつかむ適宜、漢字や語句を確認する。 設問①～④(P 169)に取り組み、場面の展開と人物の思いを捉えて、作品を読み深める。	【知技】(1)イ 【思判表】C (1)イエ ㊦ C(2)イ	【知技】・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 【主】・進んで人物の思いについて考えながら作品を読み深め、学習課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。
12月	言葉〈漢字道場〉紛らわしい漢字 P 171	問題①～③(P 171)に取り組み、形の似た漢字があること、なかには音も似た漢字があることなどを理解する。	【知技】(1)ア	【知技】◎形や音の似た、紛らわしい漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【主】・進んで紛らわしい漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
12月	読む〈読書〉何のために「働く」のか P 172	「何のために『働く』のか」全文を通読し、働くことの意味について自分はどう考えるか、話し合う。適宜、漢字を確認する。 「将来の目標や計画を立てよう」を参考に、自分の生き方や社会との関わり方について考え、本や資料、インターネットなどで関心のある働き方や仕事について調べる。	【知技】(3)オ 【思判表】C (1)エ ㊦ C(2)ウ	【知技】◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 【主】・進んで自分の生き方や社会との関わり方について考え、これまでの学習を生かして、自分が関心のある働き方や仕事について調べようとしている。
1月	読む〈言葉とメディア〉いつものように新聞が届いた——メディアと東日本大震災 P 184	全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 設問①(P 194)に取り組み、文章の内容を読み取る。 設問②～③に取り組み、災害時における情報の伝わり方や価値、メディアの特徴や役割、伝え続けることの意義について話し合う。	【思判表】C (1)エ ㊦ C(2)ア	【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。 【主】・進んで情報やメディアについて考えを深め、学習課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。
1月	学びの扉／学びを支える言葉の力(論理的な言葉の力——議論する力)合意を形成する	教材(P 196)を読んで、漫画に描かれた話し合いのよくないところを見つける。 【基】「合意を形成する」(P 242～245)を読んで、合意形成の仕方について理解を深め、お互いの意見の共通点やよい点を見つけて、合意を形成する。	【思判表】A (1)オ	【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において、お互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 【主】・進んで合意形成の仕方を理解し、学習課題に沿ってお互いの意見の共通点やよい点を見つけようとしている。
1月	書く〈感性・想像〉今の思いをまとめよう——時を超える手紙 P 203	教材冒頭(P 203)の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。 手順①～④(P 204～207)に取り組み、「過去の人物」か「未来の自分」に宛てて手紙を書く。 「言葉の力 書きたい内容を考える／手紙の書きだしと結びを整える」(P 205, 206)を読んで、手紙に書く内容や、書きだしと結びの形式について確かめる。	【思判表】B (1)ウエ ㊦ B(2)イ	【思判表】◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【思判表】◎「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 【主】・積極的に書きたい内容を考え、学習の見通しを持って手紙を書きあげようとしている。
2	言葉〈文法の窓／	教材(P 208)を読んで、文法的な性質	【知技】(1)	【知技】・文法的な性質の異なる語の見分け方

月	文法解説 文法のまとめ ——怪盗 X か ら名品を守れ P 208 / P 262	の異なる語を見分ける。また、「考えよう」に取り組む。適宜、漢字を確認する。 基「文法のまとめ」(P 262～263)を読んで、文法の復習をする。また、「問題」 1 (P 263)に取り組む。	イ、2 年(1) オ	を理解することを通して、語感を磨いている。 [知技] ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解を深めている。(2 年(1)オ) [主]・進んで単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
2 月	言葉〈漢字道場〉 間違いやすい言葉 P 209	問題①～② (P 209) に取り組み、読み間違いやすい言葉があることや、複数の読み方がある言葉もあることを理解する。 問題③～④に取り組む、書き間違いやすい言葉があることを理解する。	[知技] (1)ア	[知技] ◎読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主]・進んで間違いやすい漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
2 月	読む〈詩(詩の言葉)〉 レモン哀歌 P 210	全文を通読し、内容を大まかにつかむ。この詩の言葉で心に残ったところを挙げて、そこにどんな表現効果を感じられるかを話し合う。 この詩に描かれている生と死について考え、感想をまとめる。	[思判表] C (1)ウエ ㊦ C(2)イ	[思判表] ◎「読むこと」において、詩の展開や表現の仕方について評価している。 [思判表] ◎「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで効果的な表現に注意して読み、学習課題に沿って感想をまとめようとしている。
3 月	読む〈詩(詩の言葉)〉 生ましめんかな P 212	全文を通読し、内容を大まかにつかむ。この詩の中の「私が生ませましよう」と「生ましめんかな」の言葉の違いに着目し、表現の効果や役割について考える。 この詩の最後の三行について、感じたことや考えたことをまとめ、話し合う。	[思判表] C (1)ウエ ㊦ C(2)イ	[思判表] ◎「読むこと」において、詩の展開や表現の仕方について評価している。 [思判表] ◎「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで効果的な表現に注意して読み、学習課題に沿って感じたことや考えたことをまとめ、話し合おうとしている。
3 月	読む〈読書〉 最後の一句 P 214	タイトル下の問いかけ (P 214) を確認し、学習の見通しを持つ。 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 「いち」の最後の言葉についてどう考えるか、話し合う。 「作家と作品」(P 229～230) を読み、森鷗外について知る。 「名作を読もう」(P 231～232) を見て、日本や海外の文学作品を知り、読書意欲を高める。	[知技] (3)オ [思判表] C (1)エ ㊦ C(2)イ	[知技] ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。 [主]・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、さまざまな本を読もうとしている。

2024年度 3年生 年間指導計画 【社会】

教科目標	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて，多面的・多角的に考察したり，現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。
評価の観点	①知識・技能：我が国の国土と歴史，現代の政治・経済・国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付けるようにする。
	②思考・判断・表現：社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり，それらを基に議論する力を養う。
	③主体的に学習に取り組む態度：社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に，課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

AとB	配当月	単元	学習内容	学習目標(評価規準)	評価場面・方法
社会A	4～7月	<歴史的分野> 近代国家の歩みと国際社会 二度の世界大戦と日本	帝国主義と日本 アジアの強国の光と影 第一次世界大戦と民族独立の動き 高まるデモクラシーの意識	<ul style="list-style-type: none"> 条約改正，日清・日露戦争などにより，日本の国際的な地位が向上したことを理解する 外交や戦争の展開に着目して，世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに，日本で近代産業が発達し，近代文化が形成されたことを理解する。 近代化がもたらした文化への影響に着目して，産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察し，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動きを理解する。 第一次世界大戦前後の国際情勢について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 世界の動きと我が国の関係に着目して，第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 	授業プリント 定期テスト 提出物 <問題集及び各種レポート> 振り返りレポート
	8～12月	<公民的分野> 現代社会と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方 人権と日本国憲法 個人の尊重と日本国憲法 これからの人権保障 現代の民主政治 国の政治の仕組み 現代の民主政治と社会	現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方 人権と日本国憲法 個人の尊重と日本国憲法 これからの人権保障 現代の民主政治 国の政治の仕組み 現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。 現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 現代社会における文化の意義や影響について理解している。 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 日本国憲法が大切にされてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。 個人の尊重と法の支配などに着目して，日本国憲法において，人権保障が大切にされている理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察し，表現している。 社会の変化に伴って，新しい人権が認められてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察・構想し，表現している。 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 地方自治の基本的な考え方や政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 	授業プリント 定期テスト 提出物 <問題集及び各種レポート> 振り返りレポート

社会 B	4 ～ 7 月	<p><歴史的分野> 二度の世界大戦と日本</p> <p>現在に続く日本と世界</p>	<p>戦争に向かう世論</p> <p>第二次世界大戦の惨禍</p> <p>敗戦から立ち直る日本</p> <p>世界の多極化と日本の成長 これからの日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ・第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，戦時下の国民の生活などをもとに，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ・世界の動きと日本との関連に着目して，二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察し，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の民主化と冷戦下の国際社会，冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。 ・高度経済成長，国際社会との関わりなどを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなったことを理解する。 ・グローバル化する世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	<p>授業プリント 定期テスト 提出物 <問題集及び各種レポート> 振り返りレポート</p>
	8 ～ 1 2 月	<p><公民的分野> 私たちの暮らしと経済</p> <p>地球社会と私たち</p>	<p>消費生活と市場経済</p> <p>生産と労働</p> <p>市場経済の仕組みと金融</p> <p>財政と国民の福祉</p> <p>これからの経済と社会</p> <p>国際社会の仕組み</p> <p>さまざまな国際問題</p> <p>これからの地球社会と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に，経済活動の意義について理解している。 ・市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 ・勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 ・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・社会資本の整備，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 ・公害の防止など環境の保全について，その意義を理解している。 ・国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 ・世界平和の実現と人類の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ・地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために，経済的・技術的な協力などが大切であることを理解している。 ・世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 ・国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。 ・世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 	<p>授業プリント 定期テスト 提出物 <問題集及び各種レポート> 振り返りレポート</p>
社会 A ・ 社会 B	1 ～ 3 月	<p><公民的分野></p> <p><全分野> 1～3年生の復習とまとめ</p>	<p>より良い社会をめざして</p> <p>地理的分野 歴史的分野 公民的分野 すべて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 ・資料を活用したり，3分野を総合した問題を解くなどする中で，さまざまな資料などから社会状況を読み取ったり，現代社会の課題などについて考察する活動を行い，社会について深く考える機会を持つ。 	<p>授業プリント 定期テスト 提出物 <問題集及び各種レポート> 振り返りレポート</p>

2024年度 3年生 年間指導計画 【数学】

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。 ・事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
評価の観点	<p>知識・技能</p> <p>数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を習得している。また、事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を習得している。</p>
	<p>思考・判断・表現</p> <p>事象を数理的にとらえて論理的に課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを身につけている。</p>
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、粘り強い取り組みを行おうとしている側面がある。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面がある。</p>

時期	単元	学習内容	学習目標（評価規準）	評価
4月 5月 6月 7月	多項式	多項式の計算 因数分解 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ・既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 ・式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。 ・式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業姿勢 ・授業ノート ・問題集 ・演習プリント ・定期考査
	平方根	平方根 根号を含む式の計算 平方根の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根の必要性と意味を理解している。 ・有理数、無理数の意味を理解している。 ・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ・これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 ・数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。 ・数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
	2次方程式	2次方程式とその解き方 2次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ・解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ・因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 ・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 ・2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ・2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
8月 9月 10月 11月 12月	関数 $y=ax^2$	関数 $y=ax^2$ 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 いろいろな関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y=ax^2$ について理解している。 ・事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。 ・関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 ・関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ・関数 $y=ax^2$ の必要性と意味を考えようとしている。 ・関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・定期考査
	相似な図形	相似な図形 平行線と比 相似な図形の面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ・基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 ・誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現することができる。 ・三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 ・図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 ・図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	

	円	円周角の定理 円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
	三平方の定理	三平方の定理 三平方の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。 三平方の定理を見いだすことができる。 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 三平方の定理を見いだそうとしている。 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
1月 2月	標本調査	標本調査	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 提出物 定期考査

2024年度 3年生 年間指導計画 【理科】

教科の目標	<p>①子どもたちを見つめて</p> <p>1、自然の事物・現象への興味・関心を高め、身の回りの自然現象を科学的に理解できるようにする。</p> <p>2、実験や観察を目的意識をもって行い、過程や結論について「考える時間」を作り、考えようとする姿勢を習慣付ける。</p> <p>3、提出物の評価を緻密に行うことで、学習意欲をもたせ、基礎・基本の定着をはかる。</p> <p>②理科を通じて</p> <p>1、自然の事物・現象に関心を持ち、その規則性を発見する力を育てる。</p> <p>2、自然を調べる方法を学ぶことにより、科学的なものの見方や考え方を身に付ける。</p> <p>3、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決する方法を養う。(生きる力の育成)</p> <p>③私たちの手だて</p> <p>生徒達が、授業に参加しているという実感を持てるような工夫をし、結果としてよくわかったと思える授業を創造していきたい。</p> <p>1、授業を工夫して、自然の現象や現象に興味をもたせる。</p> <p>2、考える、また考えたことを表現する(書く・発表するなど)時間を確保する。</p> <p>3、実物、具体物をできるだけ多く準備する。</p> <p>4、日常生活や、身近な題材に関連付ける。</p> <p>5、総合的に学習し、他面的、総合的な見方を育てる一助として、マルチメディア教材の活用をする。</p>
評価の観点	<p>知識・技能： 自然事象や物理現象について正しく理解できる。観察や実験を目的を持って意欲的に行う。</p> <p>思考・判断・表現： データや事実にもとづき、科学的に考えようとする。自然事象や物理現象について正しく説明できる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度： 自然事象や物理現象に対して関心を持ち、考えようとする。</p>

	配当月	単元	学習内容	観点	学習目標(評価規準)	評価場面・方法	備考
理	4月	[生命] 生命の連続性 (20+3)	単元導入 (1), 学ぶ前にトライ! 1章 生物のふえ方と成長 (8) 2章 遺伝の規則性と遺伝子 (6) 3章 生物の種類の多様性と進化(4) 力だめし, 学んだ後にトライ! (1) 鳥類は恐竜から進化した?	知識・技能	生物のふえ方と成長, 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら, 生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	授業参加 提出物 定期考査 小テスト 等	
	5月			思考・判断・表現	生物のふえ方と成長, 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら, 生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを, 科学的に探究している。		
	6月			主体的に学習に取り組む態度	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。		
科	7月	[エネルギー] 運動とエネルギー (34+2)	単元導入 (1), 学ぶ前にトライ! 1章 力の合成と分解 (7) 2章 物体の運動 (10) 3章 仕事とエネルギー (8) 4章 多様なエネルギーとその移り変わり(3) 5章 エネルギー資源とその利用 (4) 力だめし, 学んだ後にトライ! (1) “エネルギーをみんなに そしてクリーンに”	知識・技能	力のつり合い・運動の規則性・仕事とエネルギーを日常生活や社会と関連づけながら, 水中の物体にはたらく力, 力の合成・分解についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	授業参加 提出物 定期考査 小テスト 等	
	8月			思考・判断・表現	力のつり合い・運動の規則性・仕事とエネルギー合成・分解について, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 力のつり合い, 合成や分解の規則性や関係性を見だして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。		
	9月			主体的に学習に取り組む態度	力のつり合い・運動の規則性・仕事とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。		
	10月			知識・技能	日常生活や社会と関連づけながら, 人間と環境についての事象の原理・法則や, 自然科学の発展に関する基本的な概念などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。		
A	11月	[環境] 自然と人間 (11+1)	単元導入 (1), 学ぶ前にトライ! 1章 自然界のつり合い (5) 2章 ささまざまな物質の利用と人間 (5)	思考・判断・表現	人間と環境に関する事象や科学技術の発展について, 見通しをもって情報収集や資料調査などを行い, その結果を分析して解釈し, 科学技術の発展の方向性について根拠にもとづいて予測しているなど, 科学的に探究している。	授業参加 提出物 定期考査 小テスト 等	
	12月			知識・技能	生物と環境に関する事物・現象や自然科学の発展に関する事柄に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。		
	1月			主体的に学習に取り組む態度	生物と環境に関する事物・現象や自然科学の発展に関する事柄に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。		
	2月	予備・1・2年生の復習					

配当月	単元	学習内容	観点	学習目標(評価規準)	評価場面・方法	備考	
4月	[物質] 化学変化とイオン (27+2)	単元導入 (1) 学ぶ前にトライ! 1章 水溶液とイオン (8) 2章 電池とイオン (7) 3章 酸・アルカリと塩 (10) 力だめし, 学んだ後にトライ! (1) “化学電池と未来”	知識・技能	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら, 原子の成り立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	授業参加 提出物 定期考査 小テスト 等		
5月			思考・判断・表現	水溶液とイオンについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し, 化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。			
6月				主体的に学習に取り組む態度			水溶液とイオンに関する事象・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
7月							
8月							
9月							
10月	[地球] 宇宙を観る (20+2)	単元導入 (1), 学ぶ前にトライ! 1章 地球から宇宙へ (5) 2章 太陽と恒星の動き (8) 3章 月と金星の動きと見え方 (5) 力だめし, 学んだ後にトライ! (1) 大きさをこえてさぐる太陽系の歴史	知識・技能	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら, 天体やその運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	授業参加 提出物 定期考査 小テスト 等		
11月			思考・判断・表現	天体の観察, 実験などを行い, その結果や資料を分析して解釈し, 天体についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。			
12月			主体的に学習に取り組む態度	天体やその運動に関する事象・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。			
1月	[環境] 自然と人間 (16+2)	3章 科学技術の発展 (3) 4章 人間と環境 (8) 5章 持続可能な社会をめざして (4) 力だめし, 学んだ後にトライ! (1) かけがえのない地球とともに	知識・技能	日常生活や社会と関連づけながら, 人間と環境についての事象の原理・法則や, 自然科学の発展に関する基本的な概念などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	授業参加 提出物 定期考査 小テスト 等		
2月			思考・判断・表現	人間と環境に関する事象や科学技術の発展について, 見通しをもって情報収集や資料調査などを行い, その結果を分析して解釈し, 科学技術の発展の方向性について根拠にもとづいて予測しているなど, 科学的に探究している。			
3月			主体的に学習に取り組む態度	生物と環境に関する事象・現象や自然科学の発展に関する事柄に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。			

2024 年度 3 年生 年間指導計画（英語）

<p>教科の目標</p> <p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。</p>	
<p>評価の観点</p>	<p>知識・技能</p> <p>外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。</p>
	<p>思考・判断・表現</p> <p>外国語を用いて、その場面に応じて、話す・聞く・読む・書くなどの言語活動を積極的に行い、自分の考えや思いなどを表現し合っている。</p>
	<p>主体的に学びに向かう態度</p> <p>外国語に関心を持ち、自分自身の目標達成に向けて積極的に取り組んでいる。</p>

時期	単元	学習内容	学習目標	評価
4月	Unit 1 School Life Around the World	<p>基本文</p> <p>Part 1 The classes are taught in English or Arabic.</p> <p>Part 2 Let me show you my school. Our teachers help us prepare for performances.</p> <p>Part 3 Ms. Brown told us (that) it was an interesting website.</p>	<p>・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。</p> <p>・読んだ記事について、意見を発表することができる。</p>	<p>・授業態度</p> <p>・定期考査</p> <p>・提出物</p> <p>・小テスト</p> <p>・スピーチ発表</p>
	Daily Life 1 ディスカッション	<p>話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取る。</p>	<p>・話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。</p>	
5月	Unit 2 Our School Trip	<p>基本文</p> <p>Part 1 We have finally arrived in Miyajima.</p> <p>Part 2 Have you checked your photos yet? —Yes, I have. / No, I haven't. The tram hasn't left yet.</p> <p>Part 3 Have you ever seen him like that? —Yes, I have. / No, never. I've never seen such a beautiful sunset.</p>	<p>・会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。</p> <p>・おすすめの場所について、教え合うことができる。</p>	<p>・授業プリント</p>
	Daily Life 2 留守番電話	<p>留守番電話の伝言から用件を聞き取り、用件に応じたやり取りを演じたり、自分たちで考えたやり取りをしたりする。</p>	<p>・留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。</p>	
6月	Unit 3 Lessons From Hiroshima	<p>基本文</p> <p>Part 1 The dome has been like this for over 70 years. How long have you been a volunteer? — I've been a volunteer since 2000.</p> <p>Part 2 I've been thinking about our trip to Hiroshima.</p> <p>Part 3 It's important for us to learn about the past. It's also important to think about creating a peaceful world.</p>	<p>・文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。</p> <p>・読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。</p>	

	Active Grammar 1 現在完了形／現在完了進行形	現在完了形の「完了」「経験」の用法を理解する。現在完了形「継続」や現在完了進行形を理解し、現在完了形や現在完了進行形の使い方に慣れる。	・現在完了形と現在完了進行形を理解することができる。
7月	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi	出来事と河本くんの気持ちを整理して捉え、自身の中学校生活との類似点・共通点や河本くんの気持ちについて想像したことを話し合う。	・日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことなどを伝え合うことができる。
	World Tour 1 Living With Animals	説明を聞いて、絶滅危惧種の現状やその原因について知り、動物たちのためにできることを話し合う。	・絶滅危惧種の現状やその原因について知ることができる。
	You Can Do It! 1 「過去」と「現在」の相違点を挙げよう	50年後の町の変化を予想し、良くなることと悪くなることを整理して発表する。	・町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。 ・過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、50年後の町の変化を予想して述べたりすることができる。
8月	Unit 4	基本文	・投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。
9月	AI Technology and Language Part 1 Smartphones which respond to voice commands are common these days. Part 2 I have an uncle who runs a Japanese restaurant. Part 3 It's an experience that will broaden your world view.		・読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。
	Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True	OriHime の説明の要約文を完成させ、ロボットを必要とする人たちや、その人たちの役に立つロボットについて話し合う。	・説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。
	Daily Life 3 ポスター	【復習】関係代名詞 that ポスターを読んで、呼びかけていることを理解し、必要な情報を読み取る。	・ポスターから、必要な情報を読み取ることができる。
10月	Unit 5 Plastic Waste Part 1 This is a graph (which) I found on a website. Part 2 The movement (that) they started spread through social media. Part 3 This is an article I found.	基本文	
	Daily Life 4 ニュース	会議についてのニュースを聞いて要点を捉え、会議の参加者の意見を説明する。	・ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。
	Unit 6	基本文	・絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。

	The Chorus Contest	Part 1 There are two people playing one piano. Part 2 They're wearing T-shirts designed by Tina. Part 3 Tell us why you're leaving. Do you know when you're leaving?	・絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。
11月	Active Grammar 2 後置修飾	名詞の後ろに説明を追加するさまざまな言い方を理解する。関係代名詞の使い方を理解し、後置修飾の使い方に慣れる。	・名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解することができる。
	You Can Do It! 2 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	グループで賛成派と反対派に分かれて意見を述べ、最終的にそれぞれの人数を確認する。	・2人の生徒の提案を読み、賛成か反対かを定めることができる。 ・どちらかの提案について、自分の意見と理由を伝え合うことができる。
	Unit 7 Tina's Speech	基本文 Part 1 I didn't know what to expect when I got there. I thought I should learn how to use chopsticks. Part 2 If I could speak to that worried girl, I would say, "There's no need to worry."	・スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 ・今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。
12月	World Tour 2 How Do We Live?	世界を100人の村にたとえた文章を読んで、世界の現状を知り、感想や意見を友達と話し合う。	・世界を100人の村にたとえた文章から、世界の現状を知ることができる。
	Let's Read 3	セヴァンさんがいちばん伝えなかったことを考え、スピーチに対する自分の考えを伝え合う。	・スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。
1月	Changing the World		
	Unit 8 Goodbye, Tina	Part 1 I wish you weren't leaving. I wish I could stay.	・手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・自分の気持ちを伝える、手紙を書くことができる。
2/3月	You Can Do It! 3 3年間を締めくくる言葉を考えよう	好きな単語を織り込んだ詩を書いてポスターを作り、お互いの作品を読み合う。	・単語を織り込んだ詩から、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりすることができる。 ・好きな単語を織り込んだ詩を作ることができる。

教科の目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
評価の観点	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	<p>②思考・判断・表現</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>
	<p>③主体的に音楽に取り組む態度</p> <p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価資料	実技テスト(歌唱、器楽)、ワークシート(歌唱、器楽、創作、鑑賞)、学習カード、提出物、定期考査 授業中の活動の観察

時期	題材名	学習内容	観点	評価規準	評価場面・方法
4月 5月 6月 7月	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう 音楽の特徴や背景を理解してその魅力を味わおう 曲の構成を理解して、リズムアンサンブルを工夫しよう リコーダー演奏	歌唱 鑑賞 創作 器楽	①②③ ①②③ ①②③ ①②③	<p>① 知識・技能</p> <p><歌唱></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 <p><器楽></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 <p><創作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音階や言葉などの特徴及び音楽のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言内容 ・ワークシート ・演奏の聴取 ・実技テスト ・定期考査 <p>(3学期は実施せず)</p>

時期	題 材 名	学習内容	観点	評価規準	評価場面・方法
8月 9月 10月 11月 12月	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう 日本の伝統音楽の特徴を理解してその魅力を味わおう 全体の響きや各声部の役割を生かして歌唱表現を工夫しよう 箏の魅力を味わおう 音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう リコーダー・ギター演奏	歌唱 鑑賞 歌唱 器楽 創作 器楽	①②③ ①②③ ①②③ ①②③ ①②③	<p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <p><歌唱・器楽・創作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱・器楽・創作表現を工夫している。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言内容 ・ワークシート ・演奏の聴取 ・実技テスト ・定期考査 (3学期は実施せず)
1月 2月 3月	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ギター演奏 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう (卒業式に向けて)	歌唱 鑑賞 器楽 歌唱	①②③ ①②③ ①②③ ①②③	<ul style="list-style-type: none"> ・(上記下線部と同様)、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・(上記下線部と同様)、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p><歌唱・器楽・創作・鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	

教科の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
評価の観点	① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 ② 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 ③ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価資料	授業の準備、表現や鑑賞の活動の様子、ワークシート、作品、定期考査

時期	単元	学習内容	観点	学習目標（評価基準）	評価場面・方法
4月 5月 6月 7月 8月 9月	絵画	A 表現 (1)ア(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現や鑑賞の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
10月 11月	デザイン	A 表現 (1)イ(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現や鑑賞の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
12月 1月 2月 3月	デザイン	A 表現 (1)イ(2)		<ul style="list-style-type: none"> 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	
備考 適宜	鑑賞	B 鑑賞 (1)アイ	①③	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 	ワークシート 定期考査

<p>教科の目標</p>	<p>○体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することをめざす。</p> <p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人生活における健康や安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 		
<p>評価の観点</p>	<p>1. 【知識・技能】 選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解しているとともに、選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>2. 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>3. 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
<p>○授業に取り組む姿勢（欠席、遅刻、授業態度、忘れ物等） ○提出物 ○実技テスト ○定期考査</p>			

時期	単元	学習内容	観点	学習目標（評価規準）	評価場面・方法
4 5	集団行動(男女) 体づくり運動 (男女)	基本動作 ラジオ体操第一 スポーツテスト	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・号令に応じて自らで判断し、機敏かつ的確に行動できるようにする。 ・決まりを理解し、能率よく行動できるようにする。 ・自らの運動能力を把握し、普段の日常生活で生かせるようにする。 ・積極的に参加し、体力の向上や記録の更新をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・定期考査 ・実技テスト ・提出物
5 6	バレーボール (女子) アルティメット (男子)	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなどの技術の習得 ミニゲーム パスなどの基本技術の復習 ゲーム		<ul style="list-style-type: none"> ・パスやサービスなどの基礎的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。 ・役割に応じたボール操作や連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・基本的な技術や空間を使う戦術を駆使して、ゲームを展開することができる。 ・互いに協力して練習やゲームを行うとともに、ルールやマナーを守り安全に留意して活動できる。 	
6 7 8	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ		<ul style="list-style-type: none"> ・クロール・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 ・自分の目標タイムを意識して泳ぐことができる。 	

9 10	サッカー (女子)	ドリブル、トラップ、 リフティング、キックなどの技術の習得 ゲーム	1 2 3	・パスやドリブル、シュートなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・定期考査 ・実技テスト ・提出物
	バドミントン (男子)	サービスやストロークなどの技術の習得 ゲーム		・積極的に取り組むとともに、話し合いに参加することができるようにする。 ・サービスやストロークなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができるようにする。 ・用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。	
	ソフトボール (女子)	送球、捕球、打撃、走塁などの技術の習得		・互いに協力して練習やゲームを行うとともに、ルールやマナーを守り安全に留意して活動できる。 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	
	バスケットボール (男子)	ボールハンドリング、パス、ドリブル、シュートなどの技術の復習、ゲーム		・ボールハンドリングやドリブル、パス、シュートなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	
11	バドミントン (女子)	サービスやストロークなどの技術の習得 ゲーム		・積極的に取り組むとともに、話し合いに参加することができるようにする。 ・サービスやストロークなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができるようにする。 ・用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。	
	サッカー (男子)	ドリブル、トラップ、 リフティング、キックなどの技術の習得 ゲーム		・パスやドリブル、シュートなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。	
12 1	陸上競技 [中・長距離走] (男女)	1500mの測定		・目標タイムを達成するペース配分を自己の技能・体力に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走ることができる。 ・自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。	
2 3	ダンス (男女)	グループによる創作 ダンス		・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間と協力してダンスを創作し、踊ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物
通年	体育理論	文化としてのスポーツ		・文化としてのスポーツの意義について理解している。 ・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断したりするとともに、他者に伝えている。 ・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・定期考査 ・提出物
通年	保健分野	健康な生活と病気の 予防 健康と環境		・健康な生活と疾病の予防について理解している。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康と環境について理解している。 ・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

2024年度 3年生 年間指導計画 【技術】

教科の目標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	知識・技能 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会との関わりの理解。
	思考・判断・表現 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力。
	主体的に学びに向かう態度 よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度。

時期	単元	学習内容	学習目標（評価規準）	評価
4 5 6 7 月	コンピュータと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化について考えよう データ量について考えよう 情報通信ネットワークの仕組みを知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの全ての情報を数値化して処理していることを知る。 情報のデジタル化の方法を知る。 画像をデジタル化する方法やデータ量との関係について知る。 情報通信ネットワークの構成を知る。 情報機器を識別する工夫や情報を伝える工夫を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む姿勢 授業ファイル 授業プリント 定期考査 提出物
8 9 10 11 12 月	コンピュータと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 基礎技能について コンピュータの仕組みを知ろう プログラムの役割について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアを知る。 身の回りにおける入力装置と出力装置を知る。 プログラムやプログラム言語とは何かを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む姿勢 授業ファイル 授業プリント 定期考査 実習物 提出物
1 2 3 月	コンピュータと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの役割について考えよう プログラムを作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムやプログラム言語とは何かを知る。 プログラムを作るための基本的な情報処理の手順を知る。 プログラムの作成。 (ビジュアル型とテキスト型) 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む姿勢 授業ファイル 授業プリント 定期考査 実習物 提出物

2024年度 3年生 年間指導計画 【家庭】

教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	(知識・技能) 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	(思考・判断・表現) これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	(主体的に学習に取り組む態度) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価資料	授業に取り組む態度、実習物、作品、提出物、レポート、授業プリント、振り返りシート、定期テスト

時期	単元	学習内容	観点	学習目標（評価規準）	評価場面・方法
4 5 6 7	C 消費生活・ 環境 1. 家庭生活 と消費 2. 購入・支 払いと生活 情報 3. 消費者被 害と消費者 の自立 4. 持続可能 な社会	①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入 3.消費者被害と消費者の自立 ①なくなる消費者被害 ②消費者を支えるもの ③消費者の権利と責任 4.持続可能な社会 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	主体的に学 習に取り組 む態度、 思考・判断・ 表現、 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 ・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。 ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について関心をもち、環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。 	授業に取り組む 態度、 実習物、 作品、 レポート、 提出物、 授業プリント、 振り返りシ ート、 定期テスト
8 9 10 11 12	生活の課題 と実践 A 家族・家庭 生活 2. 幼児の生 活と家族 3. 幼児との かかわり	生活の課題と実践 ①幼児のころと今の自分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児にとってのおとなの役割 ⑤遊びが必要なわけ ⑥遊びを支える環境 ①ふれ合い体験の前に ②ドキドキワクワクふれ合い体 験		<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習してきた「衣食住の生活」「消費生活、環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ・実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。 ・幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解する ・幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとって遊びの意義を理解する。 ・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。 ・幼児の発達や生活の特徴から、幼児とふれ合うための自分の課題を見つけることができる。 	

		<p>③ふれ合い体験は幼児からの贈り物</p> <p>④子どもの成長と地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題にそって、幼児とふれ合う具体的な関わり方を考え、工夫することができる。 ・子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。 	
1 2 3	4.家庭生活と地域のかかり	<p>①家庭生活と地域での活動</p> <p>②多様な人々が暮らす地域</p> <p>③地域に暮らす高齢者</p> <p>④高齢者とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ・地域で、多様な人々が暮らせるための工夫を理解する。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。 ・これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。 	
	5.持続可能な家庭生活	<p>持続可能な家庭生活をめざして</p>		